

(60)分間

試験

平成 20 年 2 月 14 日 実施

科 目	講師名	学 年	学籍番号	氏 名	評 点
国際看護学	高木 廣文	2			

1. 国際看護学の定義と関連する学問について述べよ。

国際看護学とは、国や地域、民族間の保健医療・健康・看護の格差（差異 contrast）是正と、多様な文化・価値観の共存とを究極の目的として、一国の看護職者や医療従事者だけでは解決できない看護や保健上の問題、および世界共通の看護問題に取り組む学問である。

礎となっている学問：

国際保健学

疫学や公衆衛生学を基盤としている。格差の要因、現状の理解、介入方法の検討。

文化人類学

異文化看護学や民族看護学に影響。格差を差異として考え理解、調整。

2. 国際保健医療学で必要な3つの学問について述べよ。

国際保健医療学を支える3つの学問として、各種の健康問題を客観的かつ数量的に把握するために「疫学」が必要である。そして、人々の行動やその背後にある文化の理解のためには「（医療）人類学」が必要であり、世界の人々や国々の動きと関係を理解し働きかけるためには「政治経済学」が必要とされる。疫学の中でも、記述疫学は軽視されがちであるが、基礎的な情報を得て共有し、「どこで、何が、誰に起きているのか」という情報のアップデートが必要である。このためには、健康事象の迅速な情報の収集システムが必要とされる。

世界を敏感にとらえ、「歴史に学ぶ」ことが重要である。各時代の問題は、当事者にとっては新鮮で解決困難な問題であるが、本質的に新しいことはほとんどない。かつて誰かが遭遇した出来事の繰り返しであることが多く、過去の事例を学び、現在と将来にフィードバックすることが重要である。この点から、医療人類学的な視点が重要となる。ひとつの事件は世界中のあらゆる社会的出来事と結びつき関連しているので、世界を敏感に捉える必要がある。とくに、政治上の変化や経済上の悪化は、健康への影響が大きい。貧困、政治的要因、戦争、テロなどは、人々の心身の健康に大きく影響する。健康問題に対しては対症療法のみでなく、政治経済学的な考察が必要である。

3. 以下の異文化看護理論に関する文章について、空欄にあてはまる語句を書きなさい。

「文化ケア理論」

異なる（ 価値観 ）と（ 生活様式 ）をもつ人々にケアを行う意味と方法を発見するために開発されたもの。援助を受ける人々に見合った、もしくは適した看護ケアを提供できるよう看護師を導くために設計された理論

今日の急速に発展する（ 多文化的 ）世界であって、看護師が、多様な（ 価値観 ）や信念、および看護・健康・ケアリング・ウェルネス・病気・死・障害についてのさまざまな考え方もつ人々を相手に効果的に働き、機能するためには、多様な（ 文化 ）を理解する事が不可欠である

「文化を考慮した看護ケア」

有意義で有益で満足感をもたらすようなヘルスケアまたは安寧のためのサービスを提供もしくは支持するために、個人、集団、組織の（ 文化的価値観 ）（ 信念 ）（ 生活様式 ）に合わせて行われる（ 援助的 ）かつ（ 支持的 ）で、能力を与えるような行為または意思決定

順不同

(60)分間

試験

平成 20 年 2 月 14 日 実施

科 目	講師名	学 年	学籍番号	氏 名	評 点
国際看護学	高木 廣文	2			

4 . ミレニアム開発目標を 8 項目あげ、特に保健医療分野に関連する項目について説明せよ。

(1990年代は第二次世界大戦より続いた東西対立の構図がくずれ、地球規模のグローバルな課題が噴出した時代であった。環境問題や女性と開発など国際会議で議論されたトピックが、短期間で国連機関 や各国政府の基本方針に組み込まれていった。とくに、環境、人権、リプロダクティブヘルス・ライツ、HIV/AIDS、開発と貧困などが、地球規模での健康問題と深く関連し、狭義の保健医療分野の専門家だけでは対処できないことが認識された) (この部分は、なくてもよい)

2000年9月に国連ミレニアム宣言として、平和と安全、開発と貧困、環境、人権とグッド・ガバナンスなどを課題して「ミレニアム開発目標(Millennium Development Goals: MDGs)」が提唱された。これは、1990年代に多くの国際会議やサミットで提唱された開発目標を統合し、一つの共通の枠組みとしてまとめ、以下の8項目を掲げたものである。

- 1) 極度の貧困と飢餓の撲滅
- 2) 普遍的な基礎教育の達成
- 3) ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
- 4) 乳幼児死亡率の削減
- 5) 妊産婦の健康改善
- 6) HIV/AIDS、マラリア、その他の疾患の蔓延防止
- 7) 環境の持続可能性の確保
- 8) 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進

上記のMDGsは、健康問題が保健医療分野に限定されておらず、貧困、ジェンダー、教育、環境などの地球規模での課題と密接に関連し地球規模の広がりの中で議論されている。特に、保健医療分野と直接に関連している4)、5)、6)の項目は、具体的なターゲットが示されている。すなわち、2015年までに国連加盟国が達成する目標として、

5歳未満児の死亡率を2/3減少させる。

妊産婦の死亡率を3/4減少させる。

HIV/AIDSの蔓延を阻止し、その後減少させる。

マラリアおよびその他の主要な疾病の発生を阻止し、その後罹患率を下げる。

がある。

5 . 途上国における母子保健問題について述べよ。

以下の点を考慮して、解答していること：

具体例を用いて、途上国における母子保健問題を述べている。

母子保健問題に対する対応策などを述べている。